



# 柏葉



平成31年 4月12日(金)

福島県白河市立東北中学校

発行責任者 校長 芳賀 淳

スローガン「進取果敢」

## 第59回入学式が挙行されました

↓ 誓いの言葉を述べる鈴木君

4月8日(月)午後、白河市教育委員会学校教育課長根本秀一様をはじめ、多くのご来賓のご臨席のもと、本校第59回入学式が厳粛に挙行され、これから始まる中学校生活への期待に胸を膨らませた43名の新入生が東北中学校の門をくぐりました。以下に校長式辞(抜粋)を記載します。



### — 式 辞 —

「平成」から「令和」へ。人間がこの歴史的に大きな変化を迎える中、自然はその営みを変えることなく、また春という季節が巡ってきて、今まさに新元号「令和」の典拠となった梅の花が満開を迎えています。このような麗らかなる春のよき日に、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、ここに平成31年度第59回白河市立東北中学校入学式を挙行できますことは、この上ない喜びでございます。(中略)

さて、これから新入生の皆さんの中学校生活がスタートします。始まりに当たり皆さんに一番望むこととお話しします。それは、皆さんが毎日元気に学校に来てほしいということです。中学生は、「思春期」という子どもから大人へと、心も体も変化していく時期です。この時期は、今まで悩んだりしなかったことで悩んだり、友だちのことも、それまで気にならなかったことが気になったりします。中にはそれらのことをきっかけで、学校になかなか来られなくなってしまふ人もいます。一度そうなると、もう一度毎日学校に来られるようになるまでには、長い時間がかかります。そこで皆さんへのお願いは、そうなる前に、誰でも相談しやすい先生に、遠慮なく相談してほしいということです。「先生」という字は、「先に生まれる」と書きます。つまり先生方は、皆さんの人生の先輩であり、皆さんの通ってきた思春期も経験しています。一人で悩むより、絶対によいアドバイスが得られます。途中で学校が楽しくなくなって、学校に来れなくなるのは悲しいことです。そんな人が一人も出ないことが私の一番の願いです。(中略)

新元号「令和」の手話は、梅の花の蕾がパッと花開く動きです。とても素敵な手話だと思いました。本校に入学されたお子様も、令和の手話の動きのように、中学時代に、可能性の蕾がパッと花開くよう、一人一人のお子様の可能性を広げるために、職員一同、全力を傾け教育に当たることをお約束申し上げます。

## ようこそ1年生！～新入生歓迎会～

4月9日(火)の午後、生徒会が主体となり新入生歓迎会を行いました。学校生活のルールや委員会の活動内容の紹介、部活動紹介等、工夫を凝らした先輩方の発表を見て、1年生は楽しみながら新しい生活の仕方を知ることができました。全校生徒128名で、「自信をもって行動できる生徒」を目指して頑張っていきましょう！



↑ ソフト部の紹介の様子

★★★ 日々の学校の様子は東北中ポータルサイトで

東北中ポータル



★★★